

「消防用保形ホース」を安全にお使い頂くために

設置または交換の工事を行う前に必ず本書をお読みください。（本書の内容は必ず防火管理者へお伝えください）本書において△警告のついた文章は重大な人身事故を生ずる危険が存在する警告であり、△注意は重大には至らないが同様の危険が存在する注意事項です。安全に使用して頂くために必ずお守りください。

1. 開梱上の注意

刃物の使用禁止△警告

ダンボールのテープは刃物を使用せず、手ではずしてください。消防用保形ホースを結束している紐等も、刃物を使用せず、必ず手で取るようにしてください。カッターナイフ等で切ると、誤って消防用保形ホースを傷つけ、消防用保形ホース破断による人身事故が発生するおそれがあります。

2. 設置・交換工事の注意

（1）工事者の制限△警告

消火栓設置工事は消防設備士、消防用保形ホース交換工事は消防設備点検資格者または防火管理者等、消防設備の知識を有する方が実施してください。特に、消防用保形ホースの接続方法を誤ると人身事故が発生するおそれがあります。

（2）性能の限界△警告

- a. 消防用保形ホースに表示された使用圧以内で使用してください。過大な圧力はホースの破断や損傷につながり人身事故が発生するおそれがあります。
- b. 消防用保形ホースは、ビルの中で発生した火災をいち早く消火することを目的に「ビニルタイル等の床上で操作しやすく、自然劣化の少ない」仕様となっておりますので、コンクリートやアスファルト上での操法訓練では特に注意が必要です。過大な使用条件はホースの摩耗、損傷や破断につながります。

3. 使用上の注意

（1）展張時の注意△注意

消火栓の近くや廊下の角での急角度の曲げを避けて、消防用保形ホースを展張してください。

（2）放水時の注意△警告

ノズルのバルブを少しだけ開いて空気が抜けるようにしてから、元バルブを開けてください。ノズルバルブが閉まった状態で元バルブを開けると、流入する水圧によってホース内の空気がポンプ圧力まで圧縮させられるので、経年劣化等によって金具が離脱したりホースが破断した場合の危険性が増大し、重大な人身事故が発生するおそれがあります。

又、放水中のノズル並びに吐水口の開閉操作はゆっくり行ってください。急激な開閉操作を行うと送水中の圧力の2～3倍の衝撃圧力が消防用保形ホース内に発生し、消防用保形ホースが飛び跳ねたり、破断したりして人身事故が発生するおそれがあります。

（3）撤収時の注意△注意

消防用保形ホースをまっすぐにする際は、消防用保形ホースを長手方向にひっぱり、消防用保形ホースが折れないようにして巻き上げ、撤収してください。

（4）安全の確保△警告

万一の破断事故に備え、放水時には、直接放水活動に携わっている方以外は消防用保形ホースから離れるようにしてください。万一消防用保形ホースが破断すると人身事故が発生するおそれがあります。

4. 保守上の注意

（1）点検の実施△警告

使用後は必ず外観点検を行い、ジャケットのよこ糸が露出したり損傷を受けたりしている場合には、その消防用保形ホースを使用しないでください。消防用保形ホースは使用しなくても経年劣化を起しますので定期的な点検が必要です。屋内消火栓設備の点検の基準にのっとり、消防用保形ホースの「外形（外観）点検」を実施してください。

特に消防用保形ホースの外傷や金具取り付け部の損傷は消防用保形ホースの破壊や金具の吹き飛び等による人身事故が発生するおそれがあります。

（2）保管方法△注意

使用後はホース内部に水を残さないようにしてから、すみやかに消火栓ボックスへ収納してください。

一般社団法人日本消防ホース工業会

ホームページ <http://www.jfh.jp/>

TEL&FAX 03-3245-1777

東京都中央区日本橋二丁目5番13号 日本橋富士ビル 帝商(株)内